

2017年11月19日

大会中止に関するご説明

2017年11月18日（土）、当大会の100K（105 km）コースに出場していた男性が小持山を下った鞍部において、何らかの理由により滑落するという事故が発生しました。滑落の現場を目撃した選手により、同日9時11分に大会本部に事故発生連絡が入りました。

この報告を受け、コース上に配置されていた大会スタッフが滑落現場と思われる場所に駆けつけ、現場を確認したところ、目視では要救助者を確認できず、呼びかけにも反応がありませんでした。そのため、大会救護担当者が緊急事態と判断し、110番通報の上、救助要請をいたしました。

その後、埼玉県警ヘリコプターが現場直近の稜線上にいるスタッフを確認し、その後、埼玉県防災航空隊員2名がヘリより降下し、捜索活動を開始しました。

同日11時47分、防災航空隊員が要救助者を発見。本人が身につけているナンバーカードにより要救助者情報が判明しました。12時09分に要救助者をヘリに収容後、病院に搬送。その後、死亡が確認されました。

レース中の事故の発生により、要救助者の捜索、またそれに付随する対応に大会運営スタッフの人員の多くがあたることになり、レースの開催を安全に続行することが不可能と判断したため、中止を決定しました。これが当レースが開催中止に至った経緯です。

亡くなられた方のご家族のご意向を考慮し、大会の開催中止に至った経緯のご説明に時間を要しました。誠に申し訳ございません。事故に関する詳細につきましては、事実関係を調べた上で改めて報告いたします。大会に関わられた皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。

亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

大会実行委員会